



信徒聖書教育の急務

理事長・学院長
世良田湧侍

「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのこと

を守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」(マタイ 28・19、20)

イエス・キリストの世界宣教

OBI

お茶の水聖書学院

NEWS



〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-1
OCC ビル 2F
TEL 03-3296-1005
FAX 03-3296-4641
Email: office@obi-net.com
Web: //www.obi-net.com
お茶の水聖書学院
お茶の水聖書学院後援会

命令は、主による弟子たちへの宣教と教育の基本的な要請です。今日の教会がこの神の命令に応えて国内外の宣教に励んでいるのは周知のことです。お茶の水聖書学院(OBI)は、この要請のわずかな一角を担わせていただく教会での教育の補助的な働きと考えております。「わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい」とあるように、教会で信徒奉仕者として確信をもって奉仕出来るようになるには、信徒としての学びは不可欠です。

お茶の水聖書学院は当初から、信徒のための聖書学院という目標を掲げております。多くの教団、教派の間にあつて、聖書を学び、奉仕者への訓練を受けたいという信徒の方々へ満足いただける教師陣と教科内容を備えて、学びの環境を整えて参りました。

この働きも22年を迎え、卒業

生は195名を数えるようになりました。その中には直接伝道へと導かれた方々もありますが、大半は教会の中で「主に仕え、教会に仕える」働きをする信徒奉仕者として労しておられます。昨今、お茶の水クリスチャン・センターの多大な協力のもとで、その使命を十分に果たすように導かれています。

わたしたちはこの国の教会の信徒が、かつて宗教改革の際の「聖書のみ、信仰のみ、万人祭司」の福音的運動を復興し、なおも盛んになるように祈る必要があると思います。特に「万人祭司」については、今日では置き去りにされた感があります。OBIはこの「眠れる巨人」といわれる信徒の方々が覚醒し、学ばれるために神が許された大切な働きであると確信致します。今後とも諸教会のご協力とご賛同のもとに、わが国のクリスチャンの奉仕の働きが活性化いたしますようにお祈り致します。

「ギリシア・ローマの旅10日間」報告

団長（OBI講師） 飯島 勅

この研修旅行のためにお祈りくださった皆さまに心からの御礼を申し上げます。今回の旅も、聖書の理解に結びつく感動がたくさんありました。聖書の舞台に立つことができただけでも感動ですが、ギリシアでは、私たちの執拗なまでの願いを聞きそれを実現しようとして努力された現地ガイド（アテネ大学で考古学を専攻、流暢に日本語を話すギリシア正教徒のマリアさん）の熱心により、例えば、ネアポリス〜ピリピ間の国道下に残り、今も地元の人々に使用されているイグナチア街道（BC2世紀）を歩き、敷き詰められた石の一つ一つに手を触れることができました。ここは、確実に、福音をアジアからヨーロッパに運ぶ使徒パウロたち伝道者が歩いた道です。

アムピポリス（川の両側に栄え



イグナチア街道にて

る町、使徒17章1節）でのこと、ここでも私たちの願いを実現すべく熱心なガイドにより、鍵を掛けてほとんど公開しないという場所に入場が許されました。そこに私たちは「化石化したローマ時代の橋脚」を目の当たりにしたので、町の真ん中を流れるストリモン川を渡らなくてはテサロニケ方向には行くことができないので、伝道者たちがこの橋を利用した可能性は高いのです。

ローマでは、42年間この地に滞

在しているといベテラン老齢日本人ガイドでしたが、キリスト教に関心もなく、また先のギリシアのガイドのように私たちの目的を理解しませんでした。見るべくあまりにも多くのものの中から、使徒パウロとその時代（AD1世紀）に関わるものを選び出して案内することは、いくら事前に連絡を受けたとしても、彼らにとっても至難の業であるからでしょう。カピトリノの丘にそびえていたローマ最高神ユピテルの神殿基礎部分も見学しました（カピトリノ美術館内部）。その点、旅の最終日に訪れた、紀元1世紀以降ローマの外港として栄えたテベレ河口の



ローマ時代の橋脚



ルデヤ受洗記念会堂前にて

オスティア遺跡は、使徒パウロの時代の人々の生活を再現してくれました。市壁の外に築かれたネクロポリス（墓群）、人や荷車の往来で賑わった轍の残るオスティア街道、鉛管を使用した地中を走る水道、公衆トイレ、今も3〜4階まで残る高層住宅、飲食街、町の中心にそびえる神殿、海で働く人々の心を捕らえたミトラ教……。ただの観光旅行ではない、私た

（6頁に続く）

ツアーに参加して

卒業生 鬼京由紀子

三月、オリーブの緑と桜に似たアーモンドの花、可憐な草花が私達を迎えてくれました。一年間、飯島先生の「聖書の世界」のご講義で学ばせていただいた私にとって、パウロの時代背景を見聞する貴重な研修旅行でした。アテネではアクロポリスを巡り、壮大なパルテノン神殿の遺跡を目にして、アレオパゴスの丘でのパウロの説教（使徒17章）が生きて胸に迫ってくるようでした。ペレヤではパウロのベーマ（説教壇）の前で記念撮影楽しいひとときでした。

聖日礼拝は、ピリピの遺跡の劇場跡の階段席に座り、使徒16章のみことばに聴き入りました。パウロに思いを馳せ、世良田先生の説教の感動を胸にルデヤの受洗記念の地へと向かいました。

受講中から待望の場所、イグナ

チヤ街道は緑の木立の中の美しい道でした。ネオポリスの港に着いたパウロ一行はこの道をピリピに向かっていたのです（使徒16章）。宣教に燃えてきつと急ぎ足で。パウロの歩まれた道を歩き廻る私でしたが、静かにその場を慈しんでおられるような飯島先生、使徒パウロを愛するお姿でした。ローマでは、パウロが住んだといわれるトラス・テベレ地区での昼食、パウロとペテロが投獄された地下牢など心に残っています。システイーナ礼拝堂の見学は神様からのプレゼントでした。豊かな学びと親しいお交わりの旅、主の恵みに心から感謝申し上げます。



ピリピでパウロが収監されたと伝えられる牢獄

卒業生 奥津 晃

祈り待ち望んでいたピリピの町に着いた。聖書の世界研修旅行が現実となった。この町にはローマ

人が多くおり、ユダヤ人を始めアジアからの人々も多く住んでいたであろう。ピリピの遺跡、アゴラを見学した後、3月17日（日）ピリピ円形劇場遺跡にて聖日礼拝をお捧げした。世良田学院長よりパウロ達の伝道によって、ルデヤや牢獄の看守と家族が救われてヨーロッパ最初の教会が誕生したことを伺い、静かな劇場の中で主がこの地にパウロを招き入れ宣教されたことを強く感じた。パウロが宣教した道を辿った。（使徒16・14）ルデヤ川と受洗記念教会を見た。神を敬うルデヤに、聖霊が彼女の心を開いて、パウロの語る事に心を留めるようにされた。川は水が澄みきっていて美しい流れだった。ルデヤの信仰は行いが伴うものであり、この美しい川で洗

礼を授けられた。ピリピ教会の誕生であるルデヤ川を見て当時に思いを馳せ、詩篇1・3のみことばを思い出した。



当時を偲ばせるルデヤ川

次に（使徒の働き16・19～34）パウロとシラスは石の牢獄に入れられたが、神に祈りつつ賛美をお捧げた。その朗々とした歌声が聞こえてくるようであった。ほかの囚人たちも聞き入っていたとあるが、小さい牢獄に思えた。地震等で崩れたのかもしれない。監守は自殺しようとしたが、パウロに命を助けられた。パウロとその信仰の姿勢を見た看守と家族全員が救いに導かれた。この様に聖霊に



ピリピの野外劇場にて

よって、神が私達を招いておられるのだと確信したパウロ達は町中でも、牢獄でも福音と賛美と祈りの姿勢を貫いた。

二千年前にパウロや使徒たちが、どんなに迫害されたとしても、宣教の働きをやめる事をせず、異邦人に福音を語った事により、今日の私たちがあつてこその出来た事である。神の働きがみことばの現場に立つ事によって、教えられ理解する事が出来た、クリスチャンの幸いを感謝する。

学窓トピックス

●卒業式

3月2日、第20回卒業式が行なわれました。宮内芳枝、高崎公子、島田裕子、町田恵子、鬼京由紀子、小澤ナオミ、高沢茂雄、篠田一志、以上聖書科8名、加藤かおり、以上教会音楽科1名の卒業生が、5団体9教会へ送り出されました。

●入学式

4月1日、入学式・始業式が行われました。聖書科本科2名、専修科2名、聴講1名、通信科1名、教会音楽科1名、一般音楽科1名、計8名の方々が入学されました。

●教会音楽科行事

7月16日レクチャー&コンサート「奏楽者のためのコラル前奏曲入門」を開催予定です。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

●サマースクーリング

今年も恒例のサマースクーリングを実施します。詳しくは次頁をご覧ください。

2013 年度前期カリキュラム

	月	火	水	木	金	土
I	11:00 ～ 12:30	旧約・新約釈義入門 福井 誠		聖書重要教理（＊） 藤原導夫	*	
II	13:30 ～ 15:00	信徒の実践神学概論（＊） 世良田湧侍 原典による聖書釈義 野口 誠		キリスト教倫理 堀 肇	図解 聖書理解の基本 中島總一郎	
III	15:30 ～ 17:00	聖書原典購読 野口 誠		ヨハネの福音書～愛 の御声を聴く 宮崎 誉	パウロの手紙 岩上敬人	
IV	18:30 ～ 20:00	旧約聖書概論（＊） （音楽科、聖書科合同礼拝） 福井 誠		*	十字架の道ゆき～マタイ の福音書に学ぶイエス 河村従彦	

*「讃美歌入門：歌詞を味わい、評価し、つくる」が特別講座として開催されています。月曜日 18:30-20:00、通年 15 回です。

*ピアノコース、通信コースは、随時受付です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

特別セミナー案内

7 月 20 日(土)、OCC 416

号小チャペルにて、「第 4 回教会福音讃美歌セミナー」を開催いたします。講師は、福音讃美歌協会の中山信児、井上義、葛田直毅の各師です。

2012 年夏に発行された『教会福音讃美歌』は、分かりやすい日本語、新鮮なレパートリー、見やすい楽譜が好評で、出版以来、多くの教会で用いられています。教会福音讃美歌セミナーでは、この讃美歌集をさらに良く知り、良く用いるためにいろいろな角度から学びを深めます。牧師、奏楽者だけでなく、讃美歌を愛するすべての人の参加をお待ちしています。

参加費は、一日 4 回で 6 千円、部分参加の場合は、1 回 2 千円となります。詳しくは同封の案内をご覧ください。



師 勝 八尋

OBI のサマー・スクーリングが近づいてまいりました。今年で第 18 回となります。

今回講師としてお迎えする八尋勝(やひろ まさる)先生は、福岡県出身(1942 年生)。青年

時代は国内外航路の甲板員・航海士(7 年間)。海技免許取得で上陸中、白洋舎創業者五十嵐健治氏より聖書の教えを受け、アメリカ人宣教師の指導で回心(22 歳)。北海道聖書学院卒業(30 歳)。日本福音キリスト教会連合(JECA)・花園キリスト教会牧師(9 年間)・札幌聖書キリスト教会牧師(27 年間)・北海道聖書学院院長(8 年間)を経て、現 JEC A 札幌聖

サマースクーリング 「礼拝の理論と実際」 予告

書キリスト教会協力教師・北海道

聖書学院講師・日本福音同盟理事。

元 JEC A 全国運営委員長・少年

刑務所教誨師(7 年間)。現在は、

子どもたち、3 男 3 女は独立し、

義子夫人と暮らしておられます。

さわやかな自然の中で、新しい

出逢いやお互いの交わりの更なる

深まりをも祈り期待しつつ共に誘

い合わせてお集いくださいますよ

うご案内いたします。

【日時】

7 月 2 日(火)～4 日(木)

【会場】

独立行政法人国立女性会館(ヌ

エック) 〒355-0292 埼玉

県比企郡嵐山町菅谷 728 番地

【費用】

2 万 3 千円

(1 泊参加者は 1 万 3 千円)

【主題】

「礼拝の理論と実際」

【内容】

◆聖書講義Ⅰ 「礼拝を意味する

用語の豊かさとその意味」。旧約

聖書、新約聖書から礼拝の聖書的

な原則を学びます。

◆聖書講義Ⅱ 「礼拝の神学」。礼

拝の意味、天における礼拝、礼拝

の要素、ユダヤ教礼拝から継承さ

れたキリスト教礼拝の要素、そし

てイエスによる真の礼拝について

学びます。

◆聖書講義Ⅲ 「礼拝の歴史」。初

代教会、古代教会、中世から現代、

人間にとって最高の善、および礼

拝の意味、天における礼拝につい

て学びます。

◆聖書講義Ⅳ 「礼拝の実際」。福

音派教会、自由教会の礼拝、自分

が所属している地域教会の礼拝形

式について、理解を深めます。

◆聖書講義Ⅴ 「礼拝における女

性の役割、礼拝を診断する」。女

性の教会の誕生と形成において果

たした役割などを学びます。



パルテノン神殿にて

ちの聖書理解を助ける「聖書の世界研修旅行」は、このように、この度も主より多くの祝福をいただきました。特に、世良田湧侍先生により毎朝バスの中で持たれたデイポジションは、霊的にも維持されました。また、世良田先生の奨励による17日の聖日礼拝はピリピの野外劇場（AD 2世紀）で行われました。20日の感謝祈禱会においては、参加者の一人である有田貞一先生が奨励を担当しました。

ご献金者名

（2012年11月1日～2013年3月31日）

有田貞一・榮子 中村良子
阿久津千枝子 中島總一郎
阿部幸平 浪井弘子
安藤谷子 西口修八
安藤良一 荒羽瑞枝
萩原滋 猪狩友行
平松庸一 杉山礼子
伊藤淑美 伊藤洋子
日名富子 井上春代
平田仁美 稲垣緋紗子
福井 誠 生田今日子
藤原導夫・智子 石井由紀
福井ちよ 石塚幸子
北城みどり 飯島多稼夫
堀口容子 松本逸子
植木朋子 山口松子
梅澤近子 町田恵子
奥津晃・榮子 宮内芳枝
小野沢恵子 三浦喜代子
小澤ナオミ 三友庸子
金本 悟 森本 馥
加茂康一・早苗 山本 潤
甲斐 博 山本しづか
木下順子 横田孝子

OBI 第 12 期 収支決算報告

（2012年3月1日～
2013年2月28日）

（単位：千円）

収入	金額
授業料収入	6,558
献金収入	13,426
その他収入	563
収入計	20,547
支出	金額
学事支出	6,238
行事支出	283
経費支出	13,304
その他支出	232
支出計	20,057
収支差額	490

鬼京由起子 吉村瑠美子
清瀬行道 吉田濱江
北原重信 米田由起子
国東恵子 窪井節子
窪田淳子 国松裕子
倉沢薫代 倉内一寿
國松裕子 小林喜久男
駒井 卓 坂本二郎
汐澤美紀 庄司満喜子
島田裕子 須子 都
菅井祐子 鈴木芳宣
世良田湧侍 関口悦子
芹沢延明 高橋理恵子
田中君恵 田中恵子

田畑勝敏・早苗 高沢茂雄
永井みよ子 永澤良子
飯島 勅 脇坂 勇
東 利雄 芳賀 功
佐藤 敬
中山キリスト教会
市川北バプテスト教会
宇都宮聖書バプテスト教会
腰越独立教会
小平聖書キリスト教会
日本同盟基督教団古河教会
練馬神の教会
ホサナ・キリスト教会
OBI 声楽コース・学院生会
同窓会・第20回卒業生一同
クリスチャンペンクラブ